

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東海)	良くなる	商店街（代表者）	・まだまだ2～3か月間は好調が続くと思う。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・いよいよ、遷宮に向けての盛り上がりが増して行く。
	やや良くなる	コンビニ（店長）	・年度末、年度初め、新学期等を迎え、暖かくなり、人の動きも活発化して、かなり良い状態になるのではないかと。
		商店街（代表者）	・客の購買意欲等を見ると、良くなるように思える。また、社会の景気も良くなる傾向にあるため、売上も増えてくるのではないかと。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・メデイア関係の取材も多くなって、これから盛り上がることは必至である。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・消費税増税前にと考えるのか、街の人の動きや車の流れは多くなってきている。人が動けば、飲食業界に携わるものとしては期待ができる。ただし、現在元気のある飲食店は、丁寧な本物の仕事をしており、価格も手頃感がある店である。客のお金の使い方はまだまだシビアであり、新しい提案ができる業界にならない限り、来客数は安定的に増えない。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・客に何かきっかけがあれば、購入につながる様子が見える。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・政権が変わり、特に小売店にとっては、非常に期待が大きい。もう少しばかり時間が掛かることは分かっているが、期待も込めて、前政権の時よりは良くなると思う。
		百貨店（売場主任）	・これから、春・夏物の新作が出来てくる。新しいブランドも増える。当社は新しい物好きが多いため、売上は少し増えると思う。例年と違って、卒業式・入学式で子供に靴を買う客は減っているが、自分の靴を買う40～50代の購買意欲はある。今後も売上は良くなる。
		百貨店（経理担当）	・政府の景気対策による円安、株高効果が続く限り、上向きの景気が続く。
		百貨店（販売担当）	・企業業績が従業員に還元されることが前提であるが、購買動機の向上により、物や人の動きは活発になる可能性がある。原材料価格の高騰により、生活必需品の購買を控える可能性はあるものの、高額品を中心に、来年4月の消費税増税に向けて、一時的に購買額は増える。ただし、根拠のある力強さはなく、不安定な状態は続く。
		百貨店（販売担当）	・消費税増税までは、今の状況が続くのではないかと。
		百貨店（営業企画担当）	・4月に大型ショッピングセンターの開店があるため、一時的に消費は増えると思う。ただし、全体のパイは変わらないと思われ、今後の競争激化は必至である。
		百貨店（経営企画担当）	・政府の経済対策や株高の影響などにより、消費者マインドの改善、消費税増税や円安に伴う各種商品の値上がり前の需要が、一定程度見込まれる。
		スーパー（経営者）	・デフレ脱却が相当進み、円安は輸出産業も含めた大きな利益に貢献する。特にアメリカに対する輸出効果は大きく、貢献度も高くなっていくと思う。公共投資、民間投資が増えて、不動産は忙しくなり、雇用も増えてくる。問題は、年金を受け取る人が増え、医療費も増え、個人が消費できる金額が少なくなってきている。3か月先の景気も徐々に良くなるが、個人が良くなる実感は、まだまだつかめないと思う。
		スーパー（店長）	・厳しい寒さが続き、購買意欲が少し削がれた感があるが、気温が上昇するに従って、景気は少しずつ上昇していくと思われる。
		スーパー（総務担当）	・節分の催物の各種関連商品の売上が、前年同月比で10%以上伸びている。
		スーパー（営業担当）	・政権交代後は景気が浮揚する兆しがあり、消費者マインドも良好な状況にあると見受けられることから、良くなる傾向にあると思う。
		スーパー（営業企画）	・政治が安定してきており、新政権に対する期待に伴う経済効果が、まだあると思う。
		スーパー（支店長）	・アベノミクスに期待する。
スーパー（商品開発担当）	・イベントのある日を中心に、売上に回復傾向が出てきている。まだ少しではあるが、少しずつ下げ止まった感じが出てきている。		
コンビニ（店長）	・株高や円高で景気回復感があり、これが早く個人消費に回って欲しいという願望を込める。		
コンビニ（商品開発担当）	・補正予算の通過により、公共事業が増加し、客単価の上昇が見込める。		
衣料品専門店（販売企画担当）	・環境が上向きになってくると、販売量も自ずと増えてくる。		

家電量販店（店員）	・希望的観測と季節的な要因もあるが、3か月先には暑くなり、季節商材の売上も増えることが見込まれる。日本経済は、4月以降は回復基調になって欲しいという思いもあって、やや良くなる。	
家電量販店（店員）	・新政権の公共投資を中心とした予算編成が、ある程度けん引していくのではないかと。海外に関する不安要素はあるが、若干良くなる気がする。	
乗用車販売店（営業担当）	・客の物に対する購買意欲は、上がってきている。	
住関連専門店（営業担当）	・新築住宅、リフォーム、民間企業の設備投資など、消費税増税前に工事をしようという動きが出始めているため、販売量は増加傾向になる。	
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・政権交代により、経済の上昇機運が高まり、消費者マインドも上向きになりそうである。	
その他小売〔ショッピングセンター〕（営業担当）	・卒入学など新生活でライフスタイルが変化するタイミングであり、消費の活発化が期待できる時期である。	
高級レストラン（スタッフ）	・イベントに対する客の反応が改善してきたことや、客単価が上昇していることから、売上は前年水準にまで回復している。先行きの楽観は許されないが、景気は底入れしたように感じられる。	
一般レストラン（従業員）	・政権交代して、新政権の景気対策に期待している。	
スナック（経営者）	・寒波から解放され、客からは株の配当が久しぶりに出た等の喜ばしい話題も聞かれ、期待も持てる。	
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・このままの雰囲気が続けばもう少し上向くが、増税の言葉が踊りだせば、元通りになる。	
都市型ホテル（営業担当）	・製造業を中心に円安の影響で景気が良く、ホテルの宴会場利用も増えてきている。	
旅行代理店（経営者）	・政治が安定し、東日本大震災から2年が過ぎて社会情勢もかなり落ち着いてきたため、景気も少しは良くなると思う。	
旅行代理店（経営者）	・給料の増加が見込めれば、旅行などの余力も回復してくると思う。大型連休に期待したい。	
タクシー運転手	・この先の歓送迎会の時期は、毎年上昇している。自動車業界と、それに関わる企業の動きが良くなってきていることが、この先に期待を感じさせる。	
通信会社（企画担当）	・景気対策への期待感が広がりつつあり、实体经济にまでは波及しないまでも、雰囲気は良くなってきているのではないかと。	
テーマパーク（職員）	・家族など身近な人への投資は積極的になっていると感じるので、消費が上向いてくる要素になると思う。	
テーマパーク（経営企画担当）	・予約状況が、少しではあるが上向きである。	
ゴルフ場（企画担当）	・今後の来場者の予約数は、相変わらず順調に推移している。これからは、天候の影響をあまり受けたいと思うので、来場者数は増えて、やや良くなると思っている。	
美顔美容室（経営者）	・もうすぐキープキャンペーンが始まるため、新規客が増えると思う。	
美容室（経営者）	・今は寒くて雪が多く、パーマに出てくる客は少ないが、3～5月になれば、気温も高くなり、出やすくなることから、パーマの客は増えると思う。	
美容室（経営者）	・行事が多くなるため、来店回数が増える。新生活に向けて来店する人が多いため、少しは良くなる気がする。	
住宅販売会社（従業員）	・輸入部材の価格が上昇傾向にあり、消費税増税よりも早く決断しないと、販売価格が上がってしまうと考えてくれるようになった。	
変わらない	商店街（代表者）	・良くなる材料は見当たらない。
	商店街（代表者）	・個人消費はもちろんだが、客単価が高い仕事関係で購入する客も少ないため、売上の減少につながっている。
	商店街（代表者）	・今の状況は、当面維持されるのではないかと。ただし、法人需要が多少伸びることに期待する。
	商店街（代表者）	・商店街の状況を考えると、相変わらず好転するとは思えない。当店で、成長エンジンとなりうる商品がなかなか見つからないと感じている。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・全体では景気が良いらしいが、ガソリンや小麦の値上げ等もあり、個人消費が上向くのはまだまだ先だと思ふ。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	・景気対策に多少の期待は持てるが、輸出企業にはメリットでも、一般庶民にはまだ回ってこない。増税の影響もあり、財布のひもは固くなる傾向にある。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・3か月先に良くなっているとは思えない。

一般小売店〔薬局〕 (経営者)	・アベノミクスで、株価などは持ち直している。このお金が世の中に回り、景気が良くなって欲しいが、薬業界に回ってくるには時間が掛かりそうである。調剤部門は安定している。花粉症の流行で関連商品の動きが良くなることを期待する。
一般小売店〔食品〕 (経営者)	・一部の企業では、業績改善や経済対策の決定を受けた動きはあるが、消費者にとっては当面物価が上がらないように思っていることが一番だと思う。消費者が経済対策の恩恵にあずかり、景気が上向くのは、まだまだ何か月も先の話だと考えている。
一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・今後3か月間を考えると、あまり変わらない。増えている会社と減っている会社がある。パイは同じだから、取り合いをしている。全体的なパイが増えない限り、取り合いしている感じであり、変わらない状況が続いている。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
百貨店(売場主任)	・買い控えが当たり前ようになっており、買わなくても過ごせるという傾向は続くと思う。
百貨店(企画担当)	・政権交代による円安効果によって輸出産業の業績が上向き、株価が上昇するなど、景気が上向き兆しは見えているものの、まだまだ給料増加が行き渡っているわけではない。一方、燃料価格の高騰を始め、日常生活にはマイナスの影響が出始めている。そうした中で、尖閣問題で団体客が減少している中国以外のアジア系外国人による高額品の買物が、円安によってやや目立つようになっている点は、プラス要素である。
百貨店(経理担当)	・美術や貴金属等の高額品に動きは見られるが、その他の商品については、景気回復の様子は全くうかがえない。
百貨店(経理担当)	・このまま円安、株高の状態が継続されれば、良くなっていくと思うが、先行きはまた不透明である。
百貨店(販売促進担当)	・欧州を中心に、海外情勢の不安など、先行き不透明な要素がある。また、参議院選挙を控えて、結果が織り込まれるまでは、上下どちらにも離れないと感じる。
百貨店(販売担当)	・バレンタインデーの来客数は増加したが、アパレル商品への流れにはつながっていない。
スーパー(経営者)	・政府の景気対策に期待する。
スーパー(経営者)	・悪い状態がずっと続いているため、季節的には良くなる方向かもしれないが、中小企業は今の悪い状態から抜け出せないと思う。
スーパー(店長)	・第3のビールなど特売の低価格品は売れているが、価格が戻ると売れない。好みのメーカーというよりは、価格が下がったものだけが売れるという傾向で、単価上昇を図れない状況が続く。政権交代による景気回復は、食品関係では見られない。
スーパー(店長)	・景気の先行きは、非常に不透明である。円高も戻りつつあるが、どこまでいくのか明確になっておらず、先は全く見えていない。少しずつ円安に向かうことによって、ガソリン価格が高くなることによる影響が、各所に出てくると感じる。景気が良くなる兆しは見受けられない。
スーパー(店員)	・良くも悪くもない状況が続いている。先を見たとしても、良くなる要素がないため、今の状態が繰り返していくと思う。
スーパー(販売促進担当)	・円が安くなったり、株価が上がったりはしているが、一般消費者の財布のひもはまだ固い。
スーパー(販売担当)	・来客数の動向を見ても、良くなる理由は見当たらない。
コンビニ(企画担当)	・業績好調な企業は一時金の形で賃金を増やすと思うが、雇用を増やすかどうかは不透明である。また、いつまで円安が続くかも不透明である。輸出企業が来期の為替レートを、どれほどの水準で見積もるのか、現状の水準で見積もるのであれば、気持ち的に好転するが、多くは楽観視していないと思う。
コンビニ(エリア担当)	・当面は、今月と同様に必需品以外の買い控え傾向は継続すると思う。
コンビニ(エリア担当)	・現在のところ、景気が良くなる要素や話題はない、また、好景気になる要素があっても、業界にすぐに影響を及ぼすことは少なく、少し時間を要するので、良くなっても2か月後以降であろう。
コンビニ(店長)	・気候が良くなるとともに、来客数は増えると思うが、基本的に無駄な物は買わないという傾向は続くと思う。
衣料品専門店(経営者)	・来客数は春に向かって増えるため、売上の増加が予測できる。

家電量販店（店員）	・テレビなど売れなくなった商品もあるが、タブレットやスマートフォン、LED照明は好評であり、差し引きすると平凡な状態である。
乗用車販売店（経営者）	・好転するとしても、一部の企業や個人にとどまり、全体的には大きく変わらないと思われる。
乗用車販売店（経営者）	・3月までは、決算時期も重なり、例年通り動きは活発になるものと予想される。
乗用車販売店（従業員）	・今のそこそこ良い状況は、変わらないと思う。しかし、大きな出来事が起きずに、今のまま順調に進んでいけば、という前提である。
乗用車販売店（従業員）	・今は良くなっているが、このまま一本調子でいかどうかはわからない。経済情勢に何が起きるかわからないため、そうは上がらないと思う。
乗用車販売店（従業員）	・全体的に、先行きに対する具体的な不安はないが、好材料もない。一部の予想では、自動車は動き出したという話を聞く。オークション相場も、特別安いわけではない。2～3か月先には、少し売れてくる可能性もあるが、今は分からない。
乗用車販売店（従業員）	・年度末の決算に向けた活動となるが、そうした意味で、あまり市況が良くなっていくとは感じられない。世間では景気回復に向けて動き出していると言われていているが、客との会話の中では、そうした実感はない。まだ、市場が活性化してきたとも言えない。
乗用車販売店（販売担当）	・クリーンディーゼルエンジンは非常に人気があるが、補助金が不透明なため、何とも言えない。
乗用車販売店（総務担当）	・雇用者所得の伸びがない限り、更なる景気上昇は望めないと思う。
乗用車販売店（経理担当）	・マスコミ等が円高、株高の報道をしていることもあり、企業業績の回復に期待感もあるが、輸出企業ではない企業に関して言えば、それほどの回復感はない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は、前年同月比0.2%減少している。来客数は、同1.8%減少している。
スナック（経営者）	・アベノミクスの影響もあり期待はしているが、企業が良くなり、消費者マインドの改善にまで達するには、時間が掛かる。財布のひもは固いままであり、繁華街の人出が増えるにはしばらく掛かると思うため、売上は上がらない。
観光型ホテル（販売担当）	・現時点での2、3か月後の予約状況は、件数、人数共に前年並みではあるが、そのなかで目立つのが、仮物件の多さである。これらが成約に結び付くかどうか、気掛かりである。
都市型ホテル（従業員）	・予約数は変わらない。
都市型ホテル（経営者）	・強力な経済政策によって、少し明るさが増したが、まだまだ先行きは分からない。
都市型ホテル（支配人）	・景気が上向き気配はあるが、コストの上昇もあり、ホテルの法人需要が伸びる余地は限られる。
都市型ホテル（経理担当）	・客1人当たり単価は伸び悩む。
旅行代理店（経営者）	・アベノミクスがどこまで経済効果をもたらすのかが、まだはっきりしていない。受注や客の動向は比較的良さそうであるが、不安要素もある。
旅行代理店（経営者）	・円安が政治状況で円高になったりと不安定要素も多く、国内旅行の実需が安近短になったり、格安航空会社で遠くまで行くことに伴い旅行業者はIT化されることによって、収益は取れなくなっている。
旅行代理店（従業員）	・4月には市長選があり、企業や組織団体は旅行やイベントを控える。新学期や新年度のスタート時期は、旅行需要は低調であるため、プラス要素は考えにくい。現状がそのまま推移すると考える。
旅行代理店（従業員）	・円安を受けて、東京では海外からの駆け込み需要が増えていていると聞いているが、地方にはまだまだその影響はきていない。地方にも駆け込み需要が見込めればと思う。
タクシー運転手	・客の会話によると、良くなったと話す人よりも、変わらないまたは良くなっていないと話す人のほうが多い。夜の繁華街、飲食店街は静かであり、財布のひもが緩む状態ではない。
タクシー運転手	・今の景気はやや良いと思っているが、これより急に良くなることはない。

	タクシー運転手	・そろそろ春闘であるが、ニュースを見ていると賃金を上げる動きが出ている。給料が増えれば、全体的に雰囲気は良くなると思うが、まだ判断はできない。このままと思っている。
	通信会社（サービス担当）	・引っ越しシーズンに伴い、新規申込が増えると思うので、今よりも良くなると思う。
	通信会社（営業担当）	・円安イコール景気回復とは思わないが、新政権の各種政策に対して、国民の期待と不安と少々の疑問を耳にする今日この頃である。製造業等が多い地域と少ない地域があるなか、今後の政府がどのような舵取りをするのか、不明である。
	美容室（経営者）	・総理大臣が交代し、政権交代し、アベノミクスと言っているが、私たちのところではまだまだ不安で、客も動かない。
	その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・規模の縮小によって、マイナス効果になる。
	設計事務所（経営者）	・単価を値切られることが多い。案件数も、増える気配は全くない。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込みまでは、横ばい状態と思われる。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・良くなる期待感が先行しているため、それに便乗したいが、長期的に考える必要がありそうである。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・今春開業予定の大型ショッピングセンターに、相当の客を奪われることが予測される。身の回りの景気は、更に冷え込むと思われる。
	百貨店（販売担当）	・円安の影響で値上げになり、物価が上がり、厳しくなっていく。
	スーパー（店長）	・アベノミクスで円安が進んでいる。自店で販売している商品の中にも輸入品は多数あり、今後値上げの見通しと報道されている商品もある。それらを客が知るにつれて、節約意識が働き、余分な物を買わなくなると考えられる。
	スーパー（店員）	・株価の上昇や円安など景気の良くなるニュースが浸透しているが、油、大豆の値上がりで価格転嫁を余儀なくされる局面に来ており、値上げしてからの動向がどうなるか不安である。
	スーパー（店員）	・閉店する競合店が出て、そこに新たに大型店が出店したりして、店の売上は削られていくと思う。
	コンビニ（エリア担当）	・競合店の出店により、商圈は小さくなる。
	乗用車販売店（経営者）	・ガソリン代の高騰などにより車両に掛ける支出全般が抑えられると予想される。
	乗用車販売店（従業員）	・新車の発表予定は特になく、前年と比較しても補助金がないため、4月以降に大幅減少することは間違いないと思われる。
	乗用車販売店（従業員）	・3月まではこの勢いを維持するかもしれないが、前倒しで注文を受けているところもあるため、4月以降は一気に冷え込むかもしれない。2月後半は来客数が減ってきているため、受注効率が悪くなってきている。収益の柱である自動車保険、車検、点検の単価も下落を続けており、しばらくは厳しいと思う。
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	・来客数は若干増えたが、売上にはまだつながらないのが実感であり、景気回復にはまだ時間が掛かる。
	観光型ホテル（経営者）	・4、5月はもともと当ホテルの稼働が上がらない時期であるが、このままでいくと、やや悪くなる傾向が強まる。アベノミクスで企業業績が良くなり、春の昇給に期待できれば、足元の景況感が良くなり、個人消費や法人消費に繋がる。期待ばかりになるが、今の段階ではやや悪くなるとの懸念が強い。
	通信会社（営業担当）	・円安によって、機器の価格が上昇すれば、やや悪くなると思う。
	理美容室（経営者）	・客との会話によると、灯油やガソリン代がどんどん上がっていきため、生活は苦しくなっていくと思う。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・介護保険の年度末の駆け込み需要が過ぎた後は、販売量も低調になると想定される。
設計事務所（職員）	・景気が良くなる雰囲気は伝わってくるが、実際に各自治体がそのような方向に動いているかということ、まだまだである。	
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・年度末需要で3月は忙しいが、4月以降の物件の引き合いは減少している。	
悪くなる	コンビニ（店長）	・コンビニの競合店の出現による売上減は、今後も続く。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・近隣に競合店が開業する予定がある。

		一般レストラン（経営者）	・生活不安があり、たとえお金があっても、使うことにはならないと思う。
		旅行代理店（経営者）	・先の受注状況は、前年よりも少ないため、心配である。
		テーマパーク（職員）	・海外からの来客数が少ない。
		観光名所（案内係）	・あまり期待できず、変わらないと思う。
		パチンコ店（経営者）	・大規模店舗の増加で、大量廉価販売形態が優位になってきている。
		理容室（経営者）	・景気の良い話は、まだまだ聞かれない。財布のひもは固くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・購入者の所得が下がっているため、金融機関から住宅購入の融資をなかなか受けられない状態にある。
企業 動向 関連 (東海)	良くなる	窯業・土石製品製造業（経理担当）	・新設住宅着工件数が増加している。
	やや良くなる	食料品製造業（経営企画担当）	・円安、株高により業績が好転する企業も多く、全体的な景気は上向くと思われる。個々の業種を見ると、まだまだ期待先行にある。実際は、依然としてデフレ状況から抜け出す気配はなく、急激な改善は見られないと予測される。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ゴールデンウィークに向けて、若干の上昇期待がある。
		化学工業（企画担当）	・円安、株高の好影響は、3か月後には表面化することが予測される。しかし、欧州経済においては、イタリアの政権の行方によって、景気が下振れする可能性もある。
		化学工業（人事担当）	・過度の期待はできないが、賃上げ率が少し上昇し、景気が少し上向くことが期待される。
		電気機械器具製造業	・計画が実際の投資になり、これに伴う建設関連の受注拡大が見込まれる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・円高は是正されつつあり、為替差益による業績の改善や、輸出競争力の向上による売上の増加が期待できる。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・円安が定着してくると、海外向けの輸出量が伸びると思う。
		建設業（経営者）	・懸念される事項は多いが、消費者マインドは決して悪くない。今後も少しずつ改善するものと思われる。
		輸送業（経営者）	・客から得ている情報によると、ここ数か月間は増産が見込まれる。
		輸送業（エリア担当）	・輸出貨物では、円安の影響がそろそろ出てくる期待がある。
		輸送業（エリア担当）	・物流が動き出したためか、関東・関西方面からのトラックの入りが悪くなり、車を集めるのが大変になってきている。
		通信会社（法人営業担当）	・前政権下での無策の3年間からの脱却により、現政権への期待感が高まる。円安、株高により、投資意欲が改善する。金融、財政、成長戦略という、3本の矢への期待感がある。政治主導で、今度こそ何かできそうである。経営者のマインドも改善する。
		金融業（法人営業担当）	・最近の円安傾向は、輸出主体の自動車関連メーカーにとって、明るい材料になっている。株高も、個人消費にプラスに働いている。
		不動産業（開発担当）	・株価上昇、円安の動き等で、先行きに対する期待感がある。また、消費税増税の動向も受けて、マンション市況は活発化する。
		企業広告制作業（経営者）	・実質的效果は、今後の課題である。給与のベースが上がらなければ、景気回復感は得られない。一方、失業問題は深刻であり、社会は二極化に向かっている。
		行政書士	・年度替わりに向け、少し動きが出てくると考えられる。
		公認会計士	・中小企業の業績は、依然として厳しい。円高の改善により、株高が期待できる。株高が消費を底上げし、大企業から中小企業まで、良い影響が見られるような兆候がある。
		会計事務所（社会保険労務士）	・自動車関連の製造業では、少しずつ受注量が増えてきている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・大規模な案件が中部で立ち上がる予定があると、取引先から聞いている。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・円安で原材料等の化学業者に動きがあるものの、現在のところ、景気は変わらない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・円高により、海外製品との競争で有利になってきたが、原料がほとんど輸入であるため、原料の値上がりを危惧している。
		鉄鋼業（経営者）	・国の補正予算などでの受注増を期待していた業者もいるが、中小企業ではまだ、実際の受注にはつながらない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・円安による値引き効果で設備を購入しようとするのは、今まで設備投資を抑えてきた規模の小さいユーザーが多く、大手ユーザーの動きはまだ鈍い。円安と値引きの2段階でアピールしないと、購入を決断せず、受注できても利益が薄い状況が続いている。

	一般機械器具製造業 (経理担当)	・大きな変動要素は予想されず、現状維持程度と推測される。	
	電気機械器具製造業 (営業担当)	・円相場は、まだ不安定であると思われる。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・貿易立国の日本にとって、為替変動が一番大きく影響するため、相場が変動している間は、景気回復にはしばらく時間が掛かると思う。	
	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	・取引先の生産計画によると、今後しばらくは、今の生産状況が続く。	
	建設業(営業担当)	・世帯件数は変わらず、マンションよりも一戸建てが多いため、地方に関して言えば、当社が受ける浄化槽は増えている。都市開発として、下水管がすべて網羅されるまでは、大丈夫と思われる。増減が著しいことはないため、変わらない。	
	輸送業(従業員)	・企業は競争力を弱めるような賃上げには慎重であり、政府が見込むような景気の浮揚は難しい。新卒の採用にも慎重であり、失業者は依然として減らないなど、景気浮揚への期待には根拠がない。	
	輸送業(エリア担当)	・同業他社の中でも、運賃の改訂に感じられるか否かという状況が、今後も変わらないと思う。政権交代後、景気の改善を期待されるが、それが現実になったとしても、運送業界の運賃、給与は上昇していかない。	
	輸送業(エリア担当)	・3月は2月の負けを取り返すため、経費節減で厳しくなる。客からもまだまだ、品質よりも価格重視の傾向が強いように感じられる。	
	金融業(企画担当)	・個人投資家の動きは、引き続き活発になっていくと思われる。欧州債務危機が再燃する懸念や、日銀総裁の金融緩和の施策がどのように出てくるか、見極めた上での判断だと思われるため、当面は今のような景気が続くと思う。	
	不動産業(管理担当)	・中小企業が対象のため、円安のメリットはまだ享受されていない。円安の効果が出ないと、仲介は上向かない。	
	広告代理店(制作担当)	・相変わらず競合会社との比較で、値引き等が引き合いにされるため、多少受注が増えても、全体的に見れば変わらない。	
	新聞販売店[広告] (店主)	・新聞を購読しない世帯が、徐々に増えている。折り込み広告の回復も、見えてこない。	
	会計事務所(職員)	・急激な円安、株高で経済は順調に向かっているようであるが、中小企業や小売店にとっては、まだまだ実感するに至っていない。	
	その他サービス業[広告印刷] (従業員)	・ほんの少し動きが出てきたが、更に良くなるほどの力強さは感じられない。	
	その他非製造業[ソフト開発] (経営者)	・すべては政府の舵取りにかかっている。うまく円安ムードに持って行き、そのまま1ドル95円程度に安定させられれば経済はうまくいくと思うが、なかなか難しい。経済は思惑通りには進まない。一刻だけでは困難である。	
やや悪くなる	紙加工品[段ボール] 製造業(経営者)	・円安と燃料価格の上昇、原材料の値上がりと販売価格の低下傾向から、景気は良くなる状況ではない。	
	印刷業(営業担当)	・法人、一般、個人共に財布のひもは固く、まだまだ景気が悪い状態は続く。	
	金属製品製造業(経営者)	・量の引き合いもそれほど増えておらず、下降気味である。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・取引先の設備投資は8月ごろまでは少ないため、2~3か月先の当社の生産も少なく、景気は悪くなると思う。	
	金融業(従業員)	・自動車産業において、現状があまり良くないなか、将来についても目処が立っておらず、仕事量と労働時間も短縮されていく傾向にある。	
悪くなる	不動産業(経営者)	・中小企業金融円滑化法が終了する一方で、アベノミクスは業界には何ら効果はなく、中小零細の資金繰りはより厳しいものとなりそうである。	
雇用 関連 (東海)	良くなる	職業安定所(職員)	・景気回復の期待から、消費マインドは好転しており、求人意欲も高まっている。
	やや良くなる	人材派遣会社(経営企画)	・期替わりを契機に、客の予算削減傾向は解消すると見込まれる。
		人材派遣会社(社員)	・正社員募集の求人案件が、堅調に推移している。
		人材派遣会社(営業担当)	・引き続き円安が続けば、順調に回復する。また、TPPへの参加が決まれば、多少のマイナス要因はあっても、プラスの恩恵が多いと推察している。
		人材派遣会社(営業担当)	・政権交代に起因する円安、株価上昇を経て、日本経済の活性化を進める動きは強まるように感じられる。
		職業安定所(職員)	・円安が落ち着いた状態になってきて、92~93円程度になっている。輸出関連企業は今後緩やかに良くなって、求人も増加すると思われる。

	職業安定所（職員）	・引き続き、求人は順調に伸びていくと思われるため、景気はやや回復する。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	・当地域では、ほとんど動きがない状況である。名古屋、東京、大阪あたりでは動きが出てきている。ただし、ネットで募集しても人が来ない状態であるため、売上は増えていない。
	人材派遣会社（営業担当）	・円安や株高の動きはあるものの、景気回復を実感するまでには、まだまだ時間が掛かりそうであると感じる。
	人材派遣会社（支店長）	・ネット広告媒体における当地域の求人掲載件数は、前年同月比100%強となっているため、前年同月と同水準で推移していくと予想している。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・実感が無い。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・デフレ脱却に対する期待感が高まっているが、中小企業の厳しい状況に変化は見られない。
	職業安定所（所長）	・円安の影響を受け、取引先から生産受注が増加している自動車部品等の製造事業所では、新規求人が期待される。しかし、運輸・輸送関係や食品製造業では、燃料費や原材料等の高騰で新規求人はやや減少すると思われる。
	職業安定所（職員）	・円安、株高等に対する期待感が高まっているが、直接的な効果については、まだ確認できる状況にない。事業縮小・廃止など、中小企業では厳しい状況にある企業がまだ多い。
	職業安定所（職員）	・医療・福祉業を除くと、求人増となっている要因が時限的であり、継続的な増加が続くとは、今の時点で判断できない。
	職業安定所（次長）	・求職者数からみると悪化傾向にあるが、求人動向は決して悪くはない。雇用調整の動きも新たなものは見られないため、変わらない。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・円安によって、現状では製造業界の売上、利益率が良くなっていると感じるが、一過性のものではないかとの意見もある。
学校〔専門学校〕（就職担当）	・就職スキルとして、語学力の習得や検定資格の取得を目指す学生は減少している。しかし、社会人の受講は増えてきており、背景に採用控えを感じる。	
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・来月の送別会の予約状況は良いが、その先の予約状況は例年に比べても良くなく、これからの予約に期待したい。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・4月以降の自動車生産台数の目標は前年度よりも少ないため、4月以降はやや悪化傾向に推移すると予想する。
悪くなる	-	-